

# やいた未来ミーティング（子育て世代）会議録

日 時：平成31年3月26日（火）

19：01～21：12

場 所：矢板市生涯学習館

出席者：市長

矢板市PTA連絡協議会

（小・中学校のみ）7名

1 開 会 19：01 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

### 3 意見交換テーマ

「子育てしやすいまちづくり」

秘書広報課長

3月20日に矢板市議会の定例会で成立した「矢板市子ども未来基金」の具体的な使い道について、小・中学校のPTA役員にアンケートを実施した。145名から回答があり、活用する年代では、未就学児から小学生が60人。中学生から高校生までが69人であった。活用する分野では、教育関係が48.3%、健康・医療で32.4%であった。具体的な内容では、給食費の助成が17.24%、2番目に多かったのが予防接種の助成で17.01%、3番目は学校施設整備・備品で11.26%という回答であった。

市長

矢板市子ども未来基金は、市議会でも全会一致で承認された。しかし基金を作ることだけ決まっただけで、何に使うかは今年6月の市議会に予算案を提出したいと思っている。中学3年生まで現物給付を拡大すると、予算が年間4,500万円。高校3年生まで引き上げると年間6,200万円の予算が増えるというのは、近隣市の実績に基づいた数値。仮に中学3年生まで拡大した場合、4,500万円を市内の児童生徒数で按分すると、ひとりあたり年間19,000円の医療費が増大をするので、現物給付ではなく、保護者の方にも見える形で、子ども子育て支援、または教育の費用に充てようと考えている。その前提として、具体的な内容について意見をいただきたい。

Q 1

市長

年間19,000円、医療費が増大しても窓口払いが無いようにした方が良いと思う方はいるか？

保護者A

窓口で払っても良い。申請すれば戻ってくるので、そんなに手間ではない。

保護者B

子どもを病院へ連れて行くのは妻だが、今の話を聞くと市の案の方がいいのかなと思う。

保護者C

窓口で払っても申請して戻ってくるのであれば、基金を作った方がより効率よく他の分野に活かせるのではないかと思う。

保護者D

医療のコンビニ化になってしまうと思うので、申請する形のほうが良いと思う。

保護者E

妻が子どもを病院に連れて行き、申請も任せっきり。妻から言わせると面倒くさいと言うのが本音。ちょっとしたことで簡単に行かれては困る部分もある。

保護者F

今のままで全然問題ない。

保護者G

申請を書くのをもう少し楽にしてほしい。

市長

子ども医療費については、市内の認定子ども園と意見交換したときに、郵送で手続きが出来るというのは知られていなかったが、皆さんは知っているか。

保護者A

郵送でできるのは、窓口で言われたことはない。

保護者G

紙に書いてあるので知っていた。郵送手続きをしたことない。

市長

郵送申請をあまり奨励はしていなかったのかもしれない。

市長

手間、めんどくさいという話があったが、例えば、仕事をしている方で市役所が開いている時間に行けない方は郵送でもいいですよ、ということではなくて郵送を積極的におすすめするような取り組みも具体的にしていきたい。まずは手軽に申請してもらえる努力をしていくべきかと思っている。

保護者A

窓口が開いていない時間に、例えば、夜間金庫や図書館の本の返却のようなものならいつでも入れられるのでは。

## Q 2

市長

概ね現物給付は拡大をしないで、有効な使い道があるならという前提で、アンケート結果をふまえて意見を伺いたい。

先ほど説明しとおり、アンケート結果では具体的な内容で一番大きかったのは、給食費の助成が17.24%、次が予防接種の助成で17.01%、学校施設整備・備品が16.26%であった。給食費の助成については、大田原市では無償化が既に取り組みられているが、非常に多額の財源が必要とされる。この前、栃木市では給食費無償化を予算案を出したら、財源の裏付けはあるのかと言うことで議会が否決となってしまった。そういった中でも、基金は給食費助成なのかな。予防接種は代表的なものとしてインフルエンザだと思うが、4月から見直しをして助成対象を拡大する。これまでは助成の対象が中学3年生と高校3年生だけであったが全年代に広げた。ただし、補助の割合を下げ、1人当たり1,000円とした。使い道として、やはり給食費は魅力か？

保護者G

魅力がある。小学生2人いるので2人で9000円。毎月出るものなので目がいく。インフルエンザは1回1,000円なのか？

市長

補助が1,000円。2回受ければ2,000円。矢板市のインフルエンザの予防接種の助成制度は、早い時期に始まって、一時はもてはやされたが、あっという間に他の市町に追い越された。

保護者F

市長の中でこの基金というのはいつまでというのはあるのか？10年、20年どこまで続くのか。現時点では1人あたり19,000円で4,500万円だが、説明であったとおり、10年、20年、30年経つにつれて子どもが減る。子どもが減るのだから基金も半分の2,250万になる話なのか？

市長

議会への説明では、こども医療費の現物支給をすることによって持ち上がる相当分と言っている。子どもの数が減れば2,250万円になる可能性も大いにある。ただ、この基金については、単に一般財源から積立てるだけではなくて、例えば、ふるさと納税のメニューに子ども子育て支援を入れようと思っている。また、健康増進課で行っている、やいた健康ポイントで貯めたポイントを寄付できるので、子育て支援のために使うなど、基金に積んでいきたいと思っている。

原則は、子どもの数など踏まえたうえで。また、近隣の市町でどのくらい伸びているかを参考にしながら、積立額は決めていければと思っている。

保護者F

子どもの数に対して増減するのであれば、給食費、インフルエンザというのは賛成。ただ、ある程度の財源を確保できるのであれば、子どもというよりも、子どもを見てくれるような医療機関や施設などがあれば、魅力ある矢板市になるのではないか。トータル的に子どもだけに係わらず、直結する人たちに対しても使えるようなものにしてもらいたいと思う。

## 保護者E

子どもの数に対してと言うのであればアンケートの給食費と予防接種だが、給食費の助成と言うのは、みなさん意見が違うが、子どもが食べるものだからしょうがないという部分もある。インフルエンザは生命の危機にさらされる場合もあるので、どんどんやってもらえると助かる。学校の施設整備については、エアコンのことを言っている部分が大きいのではないか。昨年、他の市町のPTAの方と話す機会が多かったが、エアコンが無いのは矢板市だけではないかと話を聞いた。ただ、基金が減るのであれば、付けるのは1回だが維持費がかかる。そこら辺も考えて使っていないとまずいのではないかと思う。

## 市長

エアコンについては、今年の夏が非常に暑かったということを受け、国でも補正予算を組んだので、市でも市内小中学校の普通教室全てにエアコンを設置する。できれば、今年の夏に間に合うように準備を進めている。入札も終わり業者も決まったところ。他の市町だと普通教室だけではなく、特別室、音楽室や理科室などにエアコンがついているところもあるが、今年の夏に間に合うように設置を進めていく。また、学校施設ではお金ないだろうと言われるが、計画的に校舎の改築やトイレの洋式化などは、基金ではなく、市として少しずつ努力をしていきたいと思っている。

## 保護者D

給食費の助成は、確かに魅力はあるが、所詮それは入学祝い金と一緒にお金のばらまきに近い。最近は共働きが増えているので子どもが何かあった時にどうしても休まざるをえないので、その辺の対応をお願いしたい。

## 保護者C

通学路が真っ暗なので、街灯の設置や歩道の整備をお願いしたい。

## 保護者B

給食費の助成は、今喜ばれるが少しの助成にしかならない。先ほど学校の施設には基金を使わない話だが、学校のボールや備品などがダメになっているので、何とかならないかと聞くとなかなかと言われる。もう少し施設の方にお金をかけてもいいのでは。

## 保護者A

給食費の助成は必要と思う。自分の子どもが食べるものなので給食様々。高校のお弁当になったら五千円くらいじゃ作れない。

また、通学路の整備も必要と思う。今年の夏休みに事故があったり、子どもがひかれそうになってしまう箇所がある。小学生がいる時間帯にはスクールガードの方がいるが、小学校の登校時間が過ぎるといなくなってしまう。中学校はそれ以降に来るのでそれ以降は誰もいないし信号もない。車も止まってくれない。私の住んでいる地域は行政区で街灯を付けているが、地域によってついていないので怖いと思う。

## 市長

街灯については行政区を通じて、申請があれば設置する制度がある。不足している箇所があれば行政区長を通じて申請をしてほしい。特に通学路になっているところについては、市としても予算の範囲内になるが優先的につけていく。ただし、電気代は行政区になるので、行政区のふところ事情もある。

道路整備は、各行政区から必ず1本、2本要望がある。それを順番に整備していくのが本当にいいことなのかということで、平成29年度から道路整備には項目をつくり、道路の状況や通学路の有無など大雑把に点数づけをして整備することにした。ただ、地域のみなさんから要望がないとスタートできないので、気づいた点などがあれば。

道路整備以外でも、3月4日につつじヶ丘ニュータウンに信号がついたが、あれも乙畑小学校・片岡中学校のPTAの役員のみなさんが、3回くらい要望があり、警察署へ働きかけた結果、信号がついたので、まずは要望書という形があれば、市の方としても非常に応援しやすいところもあるので、よろしくお願ひしたい。

学校施設は校舎を建て直すとか関心あると思うが、公共施設再配置計画が昨年3月出来上がった。それに基づいて教育委員会の方で本年度、小中学校の適正配置についての委員会が設置されて話し合いがされた。来年度は教育委員会の方から市長部局にボールが投げられるが、それを受けて市でも、地域のまとまりや施設の老朽化度なども検証し、1年ぐらい時間をかけて具体的な計画をつくっていきたいと思っている。

再配置計画や適正配置計画で閉校と位置づけられた学校を建て直すというわけにはなかなかいかない。関心のある方も多いと思うので、多少時間を取って話し合いをしたいと思っている。

給食費の助成のあり方は内部で検討しているが、小学校の場合は月々4,500円を11カ月。3月に徴収はない。例えば、月に400円、500円減らしてもあまり喜ばれないのではないかと。それなら2月も新年度を控えて保護者の方も物入りなので、2月分も徴収しませんというのを考えている。

### Q3

保護者A

片岡では、引き落とし口座の問題で大騒ぎになった。片岡地区だと片岡小、片岡中は那須信金と農協を引き落とし口座に指定している。安沢は栃銀と農協。その農協が1回引き落としにつき、本当は108円だが54円取りますということになった。

農協から引き落とししている人は1回につき54円。学校の全ての引き落としが54円になってしまう。

市内は同じ給食費用で同じ給食を食べている。農協から引き落としの親だけ54円かかる。教育委員会と学校側と銀行側と協議をしているという話をきいたが問題となっていた。

市長

農協と教育委員会から状況を聞いてみる。

### Q4

市長

今までにない発想で、予算や学校設備も工夫が必要。単に小中学校の数を減らすだけでなく、うまく集約化出来るところは集約化したいと思っている。先ほど、話があったのは、病児・病後児保育ではないかも知れないが、要は病気になったときに預かってもらえるような医療機関や施設のこと。

保護者A

矢板にあれば確かに親御さんは楽だと思う。

保護者F

若いお母さんでお子さんいる人は、今日は子どもが熱出しちゃって休ませて下さいというのがある。病気がちのお子さんはすごく病気になるので、企業ではまた休むの？となる。お母さんだって働きたくなくてやっているわけではないので、だったらそういうお子さんを預けられるところがあればもっと働き方も変わってくるというのがある。

大きい企業では作ろうかなというところもあるが、せっかく基金としてあるのならば塩谷病院に頼んでやってもらうのも一つの手では。

保護者A

個人病院でも良いのでは。提携して何かあったら先生に来てもらって保育士とか看護師で看ているというパターンだったらいけるのでは。

保護者G

そういうのをつくるのも勿論いいと思うが、私はパートなので一日の金額と利用料が一緒なら、休んだ方がとなってしまう部分はある。

市長

矢板市では現在、宇都宮の済生会と大田原市の国際医療が提携している。

利用料は1日2,000円。塩谷病院の空きベッドを使って、一日2,000円ならどうします？

保護者G

微妙ですね。熱を出している子どもを置いていくのも気が引けるし……。インフルエンザで最初の2日間は熱が出ていて、3日目からは元気なのにといい時は確かに使いたい。元気なのに学校にも行けないから会社にも行けない。

保護者A

幼稚園で家族の誰かがインフルエンザになったら園児は来させない取り組みがあった。学級閉鎖にもならず、拡散もせず済んだが、お母さん達は休んでいる訳なのできつと思った。

保護者G

子どもが続けてなってしまうと、十日くらい休むことになってしまうが、インフルエンザだらけのところに行かせるのもどうなんだろうって言うのもある。病院だから大丈夫だとは思いますが……。抵抗はある。

保護者A

保育士も命に関わるような、例えば髄膜炎になっちゃうというときの責任の度合い、責任の所在はどこに行くのというのはいすごい不安。

秘書広報課長

病児保育は済生会と金丸で行っているが、病児保育の場合、受診は保護者が一緒にいないといけない。一緒に居て受診のとこまで居てそのまま受診後結果が出た段階で預かってもらう仕組み。結局重病だと当然入院となになってきてしまうので。預かれるレベルのもの。なんでも預かれるというものではない。結局、半日は休まなくてははいけない。

保護者A

基本受診して病名が付いてからの話なんですね。

秘書広報課長

結局、1回は休んでいかないといけない。

保護者G

半日休むなら、一日休むのも変わらない。

保護者F

発熱した翌日以降に企業では言われる。

保護者A

受診は自分で連れて行って、そのあとに預かれるレベルの子だったら預かってもらえる感じだったら預けますよね。例えば、学校の先生でクラス持っていて休めない人とかだったら預けたいですよ。

秘書広報課長

病後児保育ならぴっころ保育園にある。回復期の子で小学校6年生まで預かれます。

保護者A

使っている人はいるのか？

秘書広報課長

知っている人は使っている。仕事があるので病院行ったその日の午後からとか、先生の間診を持って行かなくてはならないので持ってきて明日からお願いしますという方はいる。

保護者G

どのくらいの熱まで預かる？

秘書広報課長

回復期と言われているので、熱のある子は基本アウト。熱のある子は病児になる。

保護者A

インフルエンザで3日過ぎの子は？風邪引きでも投薬して熱が下がってればいい？

秘書広報課長

病児保育は、学校または保育園、幼稚園にはまだ行けないけど、うちで静養できるぐらいのレベル。そこはお医者さんの判断になる。

保護者A

預かり料は所得に応じて？

秘書広報課長

1日千円。

保護者G

熱下がったら行かせてしまう。

秘書広報課長

病後児は、例えば熱がないときに預けて、熱が上がってしまうとお迎え来てもらう。

保護者G

学校と変わらないなんですね。

秘書広報課長

そこは学校と一緒に。ただ、通常学級にいられない子を隔離するシステム。

市長

皆さんからの内容も踏まえて、引き続き研究をしたいと思う。

Q 5

市長

最後に小中学校の適正配置について、矢板市でどういう状態なのかを話したいと思う。平成26年に総務省から都道府県、市町村に対して、それぞれの地方自治体が持っている公共施設そのあり方を具体的に検討するようにと要請があった。公共施設といっても小中学校からこの生涯学習館という建物、市役所、消防団の詰め所などもある。もろもろいれると133施設あるので、最終的にどうするのかの検討を始めた。そして、将来的に公共施設の更新・建て替えする費用などをシュミレーションして、30年後を見越した計画を作るようにということであった。一昨年3月に矢板市公共施設再配置計画を策定し、公共施設をどのくらい減らせばいいのか、予算的に追いつてくるのかをシュミレーションした結果、床面積ベースで30年後に4割減らすという方向性が示された。その上で、昨年度一年間をかけてどの公共施設を無くしたり、統合したり場合によっては単独で建て直したりするのかということの一つ一つ委員会で検討をした。委員会は宇都宮大学の陣内先生にお願いし、小中学校のPTA代表の方や行政区長が委員になってもらった。

検討を個別具体的にさせて頂いた結果が昨年3月出来上がったが、小中学校で残るのは、矢板小学校、東小学校、片岡小学校、安沢小学校、中学校は矢板中学校1校ということになった。ただ、これは予算的なものや施設の老朽過度を含めて、なかば機械的に決定したということなので、その施設の性格などお金だけではわりきれないようなものも含めて、個別具体的に小中学校だったら、小中学校で具体的に検討すべきだというようなことで立ち上げられたのが、小中学校適正配置の検討委員会。

これは作新大学の渡辺学長が委員長になってもらい、1年間検討した結果、泉小学校は他の公共施設との一体整備。片岡中学校は栃木県内でも何件か出てきたが、施設一体型の小中一貫校として存続する結果となった。最近是小山市、佐野市で例が出てきたが、義務学校といったことも教育長は視野に入れているのではということであった。

逆に、安沢小は公共施設再配置計画では残ったが、適正配置委員会では片岡小学校と一緒にするというような方向性。豊田小学校についても東小学校で間違いないと思うが統合の方向性。泉中学校は矢板中学校にということでした。

矢小については、川崎小学区のJR線より西側は矢小。東側は東小というような事が答申として示された。

いつからなのかと気にされる方もいると思うが、例えば片岡地区のプランを実現するには小学生と中学生が一緒になる。そうすると、今の片岡小学校の敷地に中学生が来られるかと言うと来られない。逆に片岡中学校の敷地に片小の児童が来られるかと言うと、キャパがないので難しい。他にも出来ない理由があって、小学校の施設基準と中学校の施設基準が違う。

具体的には、水道の高さとか階段の高さとかが違う。そっくり移すのは難しいので、敷地の確保もしつつ校舎の改修もしなければならない問題がある。泉地区も同様に施設の整備と一体的に考えなくてはいけないので、現時点で市が計画作ると言っても何年後にというのはなかなか言えない。ただ、泉中学校が矢板中学校と一緒になるというのは今のところ何の制約もない。豊田小学校が東小学校にというのも施設面での制約はないので順番から言うと早くなる。30年後に床面積ベースで4割削減と言っているが、大体、10年スパンで前期・中期・後期というような形で具体的に実行に移していくことになると思う。川小についても矢小のキャパは充分にあると思う。ただ、問題は東小。東小は校舎が老朽化しているが、安沢小は、プランだと安沢地区は片小。中地区は東小になる。豊田小も川崎小学校のJR東側もくる話になるとキャパオーバーになりそう。なので、施設整備どのタイミングでどう建てて行くか、本当に建てられるかを、市長部にボールを投げ変えされた状況。

市でも一年間かけてしっかりした計画を作りたいと思うが、なくなるのであれば保護者の方、未就学児の保護者の方は早く方向性を出して欲しいという意見もあった。その一方で、せめて子どもが卒業するまで待ってくれという話があったのも事実。しかし、せめてうちの子が卒業するまで待ってくれだと、いつまでも決断は出来ないので、どこかのタイミングで方向づけをしなければならないと思う。

#### 保護者E

先ほど市長が言ったように、どこかで閉めるという部分は、未就学の方は新しい方、在校の方は卒業までとなるので、期日を決めるのは確かに必要だと思う。今回の西小は一年しかなかったのでバタバタした部分があった。2～3年前に示した方が地域の連携もうまくいくのでは。というのが率直な意見・考え。

#### 市長

西小は、再配置計画の中でも先行したが、市からお願いする形なので、多少なりとも便宜を図った。例えば矢板小学校2km未満のスクールバス運行や、西小の校長先生ともう1人の先生の矢小へ異動、閉校式典の予算など。ただ、今後は市ではなく、第三者委員会がいろいろ積み上げてきた結果なので、西小のようにはない。泉小学校にエアコンを付けたのも統廃合の見返りということであったが、これからどの学校にもサービス・配慮していくと、キリがないのもこの機会に理解してほしいと思う。

#### 保護者D

長男が1年間だけ泉に行っていたが、泉小に行ってからの方が友達づき合いややれることも増えた。問題として通学などの部分はあるが、基本的にはある程度の人数、キャパがないと人づき合い、コミュニケーション能力がはっきりいって成り立たない。

小さい学校には小さい学校なりの楽しさはあるが、大きい学校には大きい学校なりにあって、少なくとも自分の長男の時には一緒になってよかったと思っている。再配置の委員会に行ったときに区長さん方から、地域のコミュニティがなくなると言っていたが、私はむしろその逆。地域のコミュニティよりも、その時一番困っているのは子ども達なので、そこをなんとかしてあげなくてはいけない。実際の今の泉中は部活動がはっきり言ってままならない状態。

市長

文部科学省の指針では小学校は2クラス、中学校は3クラスが最低と示されている。泉中学校では専門外の科目を教えている先生。それを受けている生徒がいると思うが、解消するには3クラス無い難しい。小学校2クラスは、いじめなど、どうしても相性の悪い児童を離すためには1クラスではできない。そんなこと踏まえて計画には反映されていると思う。

保護者B

小さい学校で1クラスしかないが、人間的にもしっかりしていて、ほぼ全校生徒がまとまっているので、現状ではいい環境だと思う。しかしこの先を考えると・・・。

平均20名だったのが今年の新入生は10名を割った。1クラスでも良い面と悪い面があって、どちらかというところクラス替えがあったほうが理想かなという気はしている。

検討課題はいっぱいなのでこれから市の方で頑張ってもらって検討してもらいたい。

市長

豊田小学校は、西小学校が閉校となると矢板市内で一番小さい小学校ということになるが、その辺の受けとめは地域の方も含めてどうですか？

保護者C

私個人の意見も含まれるが、正直、統廃合は反対という考えで、地元の人たちもそういう考えの人が非常に多い。ただ、決まった話なので意見を言う訳ではないが、いずれ統廃合になるなら地域の方々を説得して、みなさんが納得してくれるような道筋をつけてほしいと思う。実際、今の小学校の父兄の意見は分かれている。廃校反対の人と統合賛成の人と今のところ6：4の割合。どっちつかずもあるが、地域の方々は統廃合に反対しているのが現状。

市長

市としては少なくとも第三者を入れた会議で、例えば豊田小学校、泉中学校、安沢小学校については、統廃合の対象との方向づけを、完全に何年後というのはわからないが、施設整備の方向づけがされている中で、校舎が老朽化しているから何かするといった予算はどうしても絞らざるを得ないことは理解してほしい。とはいえ、エアコンは今年の夏、愛知県の豊田市で小学校1年生が熱中症で亡くなってしまった。これは生死の話なので豊田小学校、泉中学校にもエアコンをつける準備は進めているが、例えばトイレの洋式化や細かな雨漏りの修繕などは、公共施設再配置計画で残るとされている矢中、東小、矢小というように優先順位を決めて行う部分もある。結果として教育環境みたいなものは他の学校並には行かないことを説明しなくてはならないと思っている。

Q6

市長

子ども会育成会は非常に私たちが子どもの頃と比べて参加率が低い。単に子どもの数が少ないだけでなく再編も必要と思う。また部活動などはいかが？

保護者F

学校が部として認めているのは吹奏楽と陸上部のみ。バスケットボールと野球はクラブ活動なので学校ではノータッチの状態。ただ、子どもがやる以上はお金は出しましょ

うっていうくらい。話を聞くと子どもよりも親。私たちの時と違って今は親が全部する。送り迎えのほか、なんなら試合中も練習中もいないとなんであの人いないの？という感じになってくる。そういうのが嫌なのでやらないという親がいる。

子どもがやりたいと言ってもやっちゃだめ。これは再配置とそういうのではなくて、親の問題なのでどうしようもない。

保護者A

部活じゃないですよ？クラブチームですよ？たとえば市の委託教室が学校にあるイメージ。だからお茶当番が出来ないからやれない。送り迎え出来ないからやらない人も多いですよ。

保護者F

多いです。だから人が集まらない。

保護者B

私は最初からそういうのが大嫌いだったのでサッカー。最初からクラブチーム。

市長

人数が少なくてチームも組めないという話がありました。

保護者F

市として、確かにバスケットとかありますけれどもそれをやってくれるとありがたい。

保護者A

それだと送って行って、別な曜日とかにやらなきゃいけないから入れたくない。学校が終わって学校に野球の先生が来て教えてくれから入れている人も多いし、仕事が終わったら迎えに行けばいいとか。

市長

もともと部活に入る、小学校でスポーツをやるという人が減ってきている。小中学校の統廃合の更に上で、野球でALL矢板では試合に出られないなどの制約はあると思うが、例えば豊田小学校なんかもチームの人数が集まらないと思うが、そういう学校の子どもので野球やりたい、吹奏楽やりたい子どもはいると思う。部活動ライナーというのを走らせて、違う学校にスクールバスを回す。泉中学校だったらスクールバス一巡した段階で子どもを矢中に送ってしまうとか。それで一緒に部活をして、帰りもそれで帰ってくるようなものを基金に組み込めるといいのかな。まだ思いつきだが。

保護者F

これはありがたい話ですが、お母さん方に聞くと？

保護者A

中学校の部活だったらいい。学校でやる部活で先生がやるから。小学校は厳しい。

保護者G

どの親がみるのとか。

保護者A

結局先生はノータッチ。学校からは少し補助金を出している。野球とかソフトとか。先生は全くノータッチ。

市長

小学校に部活動指導員が制度化されるが、矢板も2人位いるがダメか？

保護者B

コーチは保護者ではなく来てくれるのなら。

市長

どうですか？昔の部活みたいに？

保護者A

例えば、指導者がいて、やりたい子を部活という形で。

市長

単に集合場所、活動場所はここの小学校ということで。指導者は有給で。

保護者A

クラブチームに入っている子が来るかといったら微妙のような気がする。

市長

クラブチームに行っちゃう人は引き留めようがない。

保護者G

どこで試合が出来るのかという話になってくる。

保護者A

昔のように市内の小学校同士で戦うとかなくて、いきなり地区大会になってしまう。

保護者F

11人チームにいないから出られる可能性はあるけど、どこかと一緒になると16人位になるので、出られる可能性がなくなるのでうちは入らない。

市長

そんなにしてまで・・・。

保護者A

子どもの人数が少ないから親は出したいですよ。

市長

これは何かやらないと小中学校の適正配置より手をつけることだし・・・

保護者A

中学校の野球部もどこかと一緒に部活を合同チームでやっているが1回勝ってもその上にはいけないシステムがある。連合だと1回戦は勝っても、2回戦には進出できない。不戦勝になってしまう。

保護者F

市の委託教室に通っているお母さん達が言うには、バスケットボールと野球はクラブチーム。市の委託教室もクラブチーム。何でお金出してくれないのか。

市長

そうですか。

保護者F

それを出せと言うのではなく、そういう話にもなる。

保護者A

小学校の卒業アルバムの時に大もめした。学校ではクラブチームだから学校の部活のところに載せる必要はないと担任が言った。載せないのなら載せなくてもいいと思っていたら、野球とソフトの人は、この代で載せないのはふざけるな。学校から補助金もら

っているんだから載せろとすごくもめて、結局先生達が折れて載せた。

保護者D

うちも同じ。学校は関係ない。そもそも何でお金を出すのか。

保護者A

校庭を使っているから出しています。というだけだった。

保護者D

むしろ逆に校庭を優先的に使わせてあげていると言われる。

市長

最後に根の深い話。最後の最後という話では無かった。

保護者B

差別になってしまうのはよくない。一緒じゃないと。

保護者A

でも先生としては、先生の指導が入っているか入っていないかで線引き。

秘書広報課長

深いですね。野球とサッカーなんでそこだけという話になってしまう。

保護者D

うちの中学校では陸上部が増える。それで団体競技が成り立たなくなる。

保護者A

うちの中学校も陸上部が多い。陸上部は保護者会がない。そうするとお茶当番もない。

陸上部は練習試合がない。

市長

これは、どこから解きほぐしていった方がいいのか、このままでいいと思っている保護者の方はきつくないと思う気がする。

保護者A

団体競技は向かない。親もコミュニケーションも嫌だという人も意外と多いので、あえて陸上部にという人もいるし、私みたいにそんなの関係なくどんどんやりたい、部員数が少ないから試合に出られるだろうからバスケ部に入る親もいるし子どももいる。

昔とは全然違う。

保護者D

子どもと親のあり方があって、親が出てくるからそういうのがある。先ほど市長も言っていた育成会なんかも親がやりたくないから子どもが行きたいと言ってもやらない。

保護者A

育成会自体入っていない。

市長

育成会ももう少しおおくりにして役が回ってこないような仕組みはできないのか。

保護者A

私の地域は2軒しかなくて毎年交代。

市長

それを周辺地区とおおくりにはできないのか。

保護者A

それも話に出たが行政区の補助金もらう関係で。

市長

それは分かる。地区のお祭りどちらのお祭りに行くだとか

保護者A

補助金は人数割にするとか言って、一緒の話になっても行政区のほうでOKが出なくて、今はそのまま。

市長

すると行政区長も交えてですね。西部地区は軒並み休止。全部で西部地区になればなんとかかなると思う。中学生まで入るから。仮に小学校がなくなったとしてもそこでまとまりを持って行くような工夫をしていかなくてはならない。

保護者A

地域の繋がりがなくなってしまう。

市長

これはまた検討・・・。

保護者F

クラブと部活も考えてほしい。

市長

分かりました。長時間にわたり熱心に発言をいただき誠にありがとうございました。出来るところからしっかりとやりたいと思う。

6 閉 会 21:12